

2021年度第I期常設展示リスト

展示期間:2021年5月22日(土)~9月5日(日) (*は寄託作品)

展示室A

◆日本画の名品

- 橋本 関雪 (1883-1945) 『倪雲林』1917(大正6)年 絹本著色
速水 御舟 (1894-1935) 『女二題 其一』1931(昭和6)年/『女二題 其二』1931(昭和6)年 絹本著色
安田 鞞彦 (1884-1978) 『茶室』1962(昭和37)年 紙本著色
猪巻 清明 (1894-1974) 『はさみ将棋』1934(昭和9)年 紙本著色
小川 芋銭 (1868-1938) 『細道絵日記』1911(明治44)年 紙本墨画淡彩
平福 百穂 (1877-1933) 『赤茄子と芋』1911(明治44)年 絹本著色
横山 大観 (1868-1958) 『山間旅行之図』1901(明治34)年 紙本墨画 *
小杉 放庵 (1881-1964) 『水菘訪客』大正末期 絹本墨画淡彩
小茂田 青樹 (1891-1933) 『農婦』1914(大正3)年頃 絹本著色
酒井 三良 (1897-1969) 『村芝居』1921(大正10)-1924(大正13)年 絹本著色
勝田 蕉琴 (1879-1963) 『安らかなる鳥の巣』1921(大正10)年 絹本著色、屏風二曲一双
福田 豊四郎 (1904-1970) 『ふるさとへ帰る』1964(昭和39)年 紙本著色、屏風四曲一隻
松本 榮 (1927-2007) 『志摩』1968(昭和43)年 紙本著色
大山 忠作 (1922-2009) 『爽涼』1980(昭和55)年 紙本著色
室井 東志生 (1935-2012) 『僚』1984(昭和59)年 紙本著色
福王寺 法林 (1920-2012) 『バドガオンの月』1982(昭和57)年 紙本著色
山本 丘人 (1900-1986) 『月夜の噴煙』1962(昭和37)年 絹本著色

展示室B

ヘンリー・ムーア (1898-1986) 『母と子:腕』1980年 ブロンズ

◆アメリカの美術

- アンドリュー・ワイエス (1917-2009) 『ガニング・ロックス』1966年 紙、水彩/『松ぼっくり男爵』1976年 ボード、テンペラ/
『そよ風』1978年 紙、水彩
ジョン・スローン (1871-1951) 『ジェファーソンマーケット ナイト』1911年 カンヴァス、油彩/『サンタフェからの二人の
女』1921年 カンヴァス、油彩/『五番街の批評家たち』1940年 カンヴァス、油彩
レジナルド・マーシュ (1898-1954) 『回転ブランコ』1931年 板、テンペラ
国吉 康雄 (1889-1953) 『婦人と子供』1920(大正9)年 カンヴァス、油彩
ベン・シャーン (1898-1969) 『トム・ムーニーの母親に挨拶するジミー・ウォーカー』1932-1933年 紙、グアッシュ/『W.P.A.
サンデー』1939年 紙、グアッシュ/『スイミングプール』1945年 ボード、テンペラ/『ラッキードラゴン』1960年
綿布、テンペラ/『久保山とラッキードラゴン伝説』1965年 書籍/『これらあらゆる権利のために我々は闘いを開
始したのだ』1946年 紙、リトグラフ/『我々は平和を望んでいる』1946年 紙、リトグラフ/『労働者より農民へ……
感謝をこめて』1944年 紙、オフセット/『リルケ「マルテの手記」より:一行の詩のためには……』1968年 紙、リト
グラフ (1)扉1/(3)多くの都市を/(7)飛ぶ鳥の姿/(18)星くずとともに消え去った旅寝の夜々/(19)愛にみちた多くの夜
の回想

◆フランス美術の名品

- カミーユ・コロー (1796-1875) 『ヴィル・ダヴレー 林をぬけてコロー家へ向かう池沿いの道』1873年 カンヴァス、油彩
クロード・モネ (1840-1926) 『ジヴェルニーの草原』1890年 カンヴァス、油彩
ピエール=オーギュスト・ルノワール (1841-1919) 『帽子を被る女』制作年不詳 カンヴァス・油彩
マルク・シャガール (1887-1985) 『版画集《死せる魂》』(96点組) 1923-25年(1948年発行) 紙、銅版 (1)チーチコフの到着
/(2)旅籠屋/(8)マニーロフ/(14)四輪馬車がひっくり返る/(17)放し飼いの庭/(19)道案内/(24)トランプ
/(28)農民たち集まる/(35)支度のできた食卓/(37)チーチコフとサバケーヴィチは取引をする

展示室 C

◆関根正二と近代の洋画

- 高橋 由一 (1828-1894) 『栗子山昔時景』1881(明治14)年頃 亜麻布、油彩
三宅 克己 (1874-1954) 『信濃路の春』制作年不詳 紙、水彩
丸山 晚霞 (1867-1942) 『溪流(飛騨蒲田の激湍)』1912(大正元年) 紙、水彩
青木 繁 (1882-1911) 『漁夫晩帰 下図』1908(明治41)年 板にカンヴァス、油彩
森田 恒友 (1881-1933) 『漁村風景』1900年代 紙、油彩
萬 鉄五郎 (1885-1927) 『庫』1918(大正7)年 カンヴァス、油彩
安井 曾太郎 (1888-1955) 『テーブルの上』1912(大正元年) カンヴァス、油彩
関根 正二 (1899-1919) 『姉弟』1918(大正7)年 カンヴァス、油彩／『神の祈り』1918(大正7)年頃 カンヴァス、油彩／『[樹](表)』1916(大正5)年 インク、紙 個人蔵
岸田 劉生 (1891-1929) 『静物(白き花瓶と台皿と林檎四個)』1918(大正7)年 カンヴァス、油彩
村山 槐多 (1896-1919) 『庭園の少女』1914(大正3)年 紙、水彩
川口 軌外 (1892-1966) 『柘榴』1932(昭和7)年 カンヴァス、油彩
長谷川 利行 (1891-1940) 『浅草の女』1935(昭和10)年 カンヴァス、油彩
寺田 政明 (1912-1989) 『谷中風景』1929(昭和4)年 ボール紙、油彩
松本 竣介 (1912-1948) 『駅』1942(昭和17)年 板に紙、油彩
吉井 忠 (1908-1999) 『草』1930(昭和5)年 カンヴァス、油彩
麻生 三郎 (1913-2000) 『家族』1959(昭和34)年 カンヴァス、油彩
桂 ゆき (1913-1991) 『親亀の背中に子亀をのせて』1970(昭和45)年 板、油彩、コラーージュ
鎌田 正蔵 (1913-1999) 『小家族(A)』1981(昭和56)年 カンヴァス、アクリル

展示室 D

◆斎藤清の版画

- 斎藤 清 (1907-1997) 『雨のミシガン』1956(昭和31)年／『ショップガール・パリ』1960(昭和35)年／『ノートルダム、パリ(B)』1960(昭和35)年 すべて紙、木版／『猫(1)』1963(昭和38)年 紙、コラグラフ／『ニューメキシコ』1965(昭和40)年／『六月、鎌倉(B)』1972(昭和47)年／『競艶』1973(昭和48)年／『霊峰(15)、晴天なり』1980(昭和55)年／『かすみ 慈愛』1991(平成3)年／『風』1997(平成9)年 すべて紙、木版

◆銅版画の魅力

- 長谷川 潔 (1891-1980) 『アレキサンドルⅢ世橋とフランスの飛行船』1930(昭和5)年／『玻璃球のある静物』1959(昭和34)年／『狐と葡萄(ラ・フォンテーヌ寓話)』1963(昭和38)年 すべて紙、メゾチント
駒井 哲郎 (1920-1976) 『束の間の幻影』1950(昭和25)年 紙、アクアチント／『海底の祭』1951(昭和26)年 紙、メゾチント、ソフトグランドエッチング／『調理場』1960(昭和35)年 紙、アクアチント
浜田 知明 (1917-2018) 『風景』1953(昭和28)年 紙、エッチング／『初年兵哀歌(歩哨)』1954(昭和29)年 紙、エッチング、メゾチント／『副校長 D 氏像』1956(昭和31)年 紙、エッチング
浜口 陽三 (1909-2000) 『西瓜』1954(昭和29)年／『白菜』1960(昭和35)年／『14のさくらんぼ』1963(昭和38)年 紙、メゾチント

屋外・ホール彫刻

- 林 範親 (1948-) 『路地裏』1994(平成6)年 ナラ、ヒバ、古材、アクリル絵具
佐藤 忠良 (1912-2011) 『若い女・シャツ』1982(昭和57)年 ブロンズ
ジャコモ・マンズー (1908-1991) 『車に乗った子供』1982年 ブロンズ
エミリオ・グレコ(1913-1995) 『スケートをする女』1951年 ブロンズ / マリノ・マリーニ(1901-1980) 『騎手』1956-1957年 ブロンズ
井上 武吉 (1930-1998) 『My Sky Hole 89-2』1989(平成元年)年 ステンレス、鏡面磨き
フェルナン・レジェ (1881-1955) 『歩く花』1952-53年 原型作成 ブロンズ、エナメル塗装 *